

【介護人材実態調査票（訪問系）事業所票】

貴事業所についてご記入ください。

事業所名	
ご担当者氏名	
電話番号	
Eメールアドレス	

※ 令和 8 年 2 月 1 日現在の状況について、ご回答ください。

問 1 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。（1 つに○）

※ 本調査票の送付先（郵便の宛名となっている施設等）で行うサービスについて、ご回答ください。

① 訪問系サービス（訪問介護、訪問入浴、訪問型サービス（総合事業））	
② 小規模多機能型居宅介護	
③ 看護小規模多機能型居宅介護	
④ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	

問 2 貴事業所（問 1 で○をつけたサービス種別の事業所）に所属する介護職員について、お伺いします。

※ ここでの「介護職員」は、賃金の支払いを受けている方に限ります。ボランティアの方は含みません。

問 2-1 介護職員の総数を、ご記入ください。（数値を記入）

※ 前月に出勤のない、長期休暇（育児休業等）中の職員は人数に含めないでください。

※ 「外国人」には、EPA・技能実習・在留資格「介護」、特定技能により勤務している人数をご記入ください。

介護職員の総数		人	左記のうち常勤職員		人
			左記のうち非常勤職員		人
外国人職員数		人	派遣職員数		人

問 2-2 貴事業所は開設から 1 年以上経過していますか。（1 つに○）

1. はい ⇒ 【問 2-3 〜】

2. いいえ ⇒ 【問 3 〜】

問2-3 令和8年2月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所にお伺いします。
過去1年間（令和7年2月1日～令和8年1月31日）の介護職員の採用者数と離職者数を、
常勤・非常勤別にご記入ください。外国人人材も含めてご回答ください。（数値を入力）

	採用者数	離職者数
常勤職員		
非常勤職員		
合計		

問3 採用や人材定着に関する課題をご回答ください。（自由記述）

問4 人材確保に関して市町村に期待するサポートがあれば、ご回答ください。（自由記述）

問 5 令和 8 年 2 月 1 日時点で、開設から 1 年以上を経過している事業所にお伺いします。

問 5-1 下記の年月日時点の貴事業所の職種別従業員数をご記入ください。

※ 従業員の実際の資格ではなく、従事している職種でご記入ください。

※ 同一事業所で複数の職種を兼務している従業員がいる場合は、主として従事する職種の方でご記入いただき、重複しないようにしてください。

※ 他事業所と兼務している従業員がいる場合は、() 内に兼務している従業員数をご記入ください。

※ 従事している職種がない場合は、0 (ゼロ) をご記入いただき、すべての欄に数字をご記入ください。

職種	雇用形態	令和 7 年 2 月 1 日時点	令和 8 年 2 月 1 日時点
訪問介護員	常勤	_____人(うち他事業所兼務_____人)	_____人(うち他事業所兼務_____人)
	非常勤	_____人(うち他事業所兼務_____人)	_____人(うち他事業所兼務_____人)
	派遣	_____人	_____人
サービス提供 責任者	常勤	_____人(うち他事業所兼務_____人)	_____人(うち他事業所兼務_____人)
	非常勤	_____人(うち他事業所兼務_____人)	_____人(うち他事業所兼務_____人)
オペレーター	常勤	_____人(うち他事業所兼務_____人)	_____人(うち他事業所兼務_____人)
	非常勤	_____人(うち他事業所兼務_____人)	_____人(うち他事業所兼務_____人)
	派遣	_____人	_____人
介護従業者 (小多機・看多機)	常勤	_____人(うち他事業所兼務_____人)	_____人(うち他事業所兼務_____人)
	非常勤	_____人(うち他事業所兼務_____人)	_____人(うち他事業所兼務_____人)
	派遣	_____人	_____人
介護職員	常勤	_____人(うち他事業所兼務_____人)	_____人(うち他事業所兼務_____人)
	非常勤	_____人(うち他事業所兼務_____人)	_____人(うち他事業所兼務_____人)
	派遣	_____人	_____人
看護職員	常勤	_____人(うち他事業所兼務_____人)	_____人(うち他事業所兼務_____人)
	非常勤	_____人(うち他事業所兼務_____人)	_____人(うち他事業所兼務_____人)
	派遣	_____人	_____人
介護支援専門員 (計画作成責任者)	常勤	_____人(うち他事業所兼務_____人)	_____人(うち他事業所兼務_____人)
	非常勤	_____人(うち他事業所兼務_____人)	_____人(うち他事業所兼務_____人)
事務員	常勤	_____人(うち他事業所兼務_____人)	_____人(うち他事業所兼務_____人)
	非常勤	_____人(うち他事業所兼務_____人)	_____人(うち他事業所兼務_____人)
	派遣	_____人	_____人

問5-2 令和7年2月1日から令和8年1月31日までに採用した従業員数をご記入ください。

また、そのうち前職が次のいずれか（介護・医療・福祉関係以外）ご記入ください。

※ 従業員の実際の資格ではなく、従事している職種でご記入ください。

※ 同一事業所で複数の職種を兼務している従業員がいる場合は、主として従事する職種の方でご記入いただき、重複しないようにしてください。

※ 他事業所と兼務している従業員がいる場合は、（ ）内に兼務している従業員数をご記入ください。

※ 従事している職種がない場合は、0（ゼロ）をご記入いただき、すべての欄に数字をご記入ください。

職種	雇用形態	令和7年中に採用した 従業員の総数	うち、前職が介護・医療・福祉関係 以外の職業であった従業員数	
管理者	常勤	_____人(うち他事業所兼務_____人)	介護	_____人
			医療	_____人
			福祉関係以外	_____人
訪問介護員	常勤	_____人(うち他事業所兼務_____人)	介護	_____人
			医療	_____人
			福祉関係以外	_____人
	非常勤	_____人(うち他事業所兼務_____人)	介護	_____人
			医療	_____人
			福祉関係以外	_____人
サービス提供 責任者	常勤	_____人(うち他事業所兼務_____人)	介護	_____人
			医療	_____人
			福祉関係以外	_____人
	非常勤	_____人(うち他事業所兼務_____人)	介護	_____人
			医療	_____人
			福祉関係以外	_____人
介護職員	常勤	_____人(うち他事業所兼務_____人)	介護	_____人
			医療	_____人
			福祉関係以外	_____人
	非常勤	_____人(うち他事業所兼務_____人)	介護	_____人
			医療	_____人
			福祉関係以外	_____人
看護職員	常勤	_____人(うち他事業所兼務_____人)	介護	_____人
			医療	_____人
			福祉関係以外	_____人
	非常勤	_____人(うち他事業所兼務_____人)	介護	_____人
			医療	_____人
			福祉関係以外	_____人
事務員	常勤	_____人(うち他事業所兼務_____人)	介護	_____人
			医療	_____人
			福祉関係以外	_____人
	非常勤	_____人(うち他事業所兼務_____人)	介護	_____人
			医療	_____人
			福祉関係以外	_____人

問5-3 貴事業所が直接雇用していた従業員のうち、令和7年2月1日から令和8年1月31日までに離職した従業員数をご記入ください。

なお、記入にあたっては、勤続年数が「1年未満」「1年以上3年未満」「3年以上」の3つの分類でご記入ください。

※ 従業員の実際の資格ではなく、従事している職種でご記入ください。

※ 同一事業所で複数の職種を兼務している従業員がいる場合は、主として従事する職種の方でご記入いただき、重複しないようにしてください。

※ 従事している職種がない場合は、0（ゼロ）をご記入いただき、すべての欄に数字をご記入ください。

職種	雇用形態	勤続1年未満	勤続1年以上3年未満	勤続3年以上
管理者	常勤	_____人	_____人	_____人
訪問介護員	常勤	_____人	_____人	_____人
	非常勤	_____人	_____人	_____人
サービス提供責任者	常勤	_____人	_____人	_____人
	非常勤	_____人	_____人	_____人
介護職員	常勤	_____人	_____人	_____人
	非常勤	_____人	_____人	_____人
看護職員	常勤	_____人	_____人	_____人
	非常勤	_____人	_____人	_____人
事務員	常勤	_____人	_____人	_____人
	非常勤	_____人	_____人	_____人

勤続1年未満 ⇒ 【問5-4へ】

勤続1年以上3年未満 ⇒ 【問5-5へ】

勤続3年以上 ⇒ 【問5-6へ】

問5-4 【問5-3で、勤続1年未満で離職した従業員数を回答した事業所のみ】

離職した従業員から実際に聞き取ることができた離職理由に当てはまるもの全てに○をご記入ください。

① 業務内容に賃金が見合わなかった	
② 担当する業務量・種類が多すぎた	
③ 残業時間が長かった。休日出勤が多かった	
④ 周りに相談できる先輩職員がいなかった	
⑤ 事業所の人間関係に問題があった	
⑥ 資格取得やキャリアアップの支援が不足していた	
⑦ 腰を痛めるなど、身体面での不調が生じた	
⑧ サービス提供の仕方や内容において、法人の方針と相違があった	
⑨ 希望する勤務条件(子育てによる時短勤務など)が反映されなかった	
⑩ 家庭(子育てや家族の介護)と仕事の両立が難しかった	
⑪ 利用者の介護に技術的な不安を感じ、不安を払拭できなかった	
⑫ 利用者家族への対応に不安を感じ、不安を払拭できなかった	
⑬ その他()	

問5-5 【問5-3で、勤続1年以上3年未満で離職した従業員数を回答した事業所のみ】

離職した従業員から実際に聞き取ることができた離職理由に当てはまるもの全てに○をご記入ください。

① 業務内容に賃金が見合わなかった	
② 担当する業務量・種類が多すぎた	
③ 残業時間が長かった。休日出勤が多かった	
④ 周りに相談できる先輩職員がいなかった	
⑤ 事業所の人間関係に問題があった	
⑥ 資格取得やキャリアアップの支援が不足していた	
⑦ 腰を痛めるなど、身体面での不調が生じた	
⑧ サービス提供の仕方や内容において、法人の方針と相違があった	
⑨ 希望する勤務条件(子育てによる時短勤務など)が反映されなかった	
⑩ 家庭(子育てや家族の介護)と仕事の両立が難しかった	
⑪ 利用者の介護に技術的な不安を感じ、不安を払拭できなかった	
⑫ 利用者家族への対応に不安を感じ、不安を払拭できなかった	
⑬ その他()	

問5-6 【問5-3で、勤続3年以上で離職した従業員数を回答した事業所のみ】

離職した従業員から実際に聞き取ることができた離職理由に当てはまるもの全てに○をご記入ください。

① 業務内容に賃金が見合わなかった	
② 担当する業務量・種類が多すぎた	
③ 残業時間が長かった。休日出勤が多かった	
④ 周りに相談できる先輩職員がいなかった	
⑤ 事業所の人間関係に問題があった	
⑥ 資格取得やキャリアアップの支援が不足していた	
⑦ 腰を痛めるなど、身体面での不調が生じた	
⑧ サービス提供の仕方や内容において、法人の方針と相違があった	
⑨ 希望する勤務条件(子育てによる時短勤務など)が反映されなかった	
⑩ 家庭(子育てや家族の介護)と仕事の両立が難しかった	
⑪ 利用者の介護に技術的な不安を感じ、不安を払拭できなかった	
⑫ 利用者家族への対応に不安を感じ、不安を払拭できなかった	
⑬ その他()	

問6 貴事業所において、従業員数が確保できているかお伺いします。

問6-1 貴事業所では、必要な従業員数が確保できていますか。「充足している」または「不足している」のいずれかに○をご記入ください。

なお、「不足している」にご記入いただいた場合は、常勤職員に換算すると、概ねどれくらいの従業員数が不足していると考えられるか、その従業員数もご記入ください。

※ 貴事業所の人員配置基準とは関係なく、業務に対してどのくらいの人員が不足しているかという観点でご記入ください。

職種	充足している	不足している	不足している従業員数
訪問介護員			_____人
サービス提供責任者			_____人
介護職員			_____人
看護職員			_____人
事務員			_____人

問 6-2 従業員が確保できない原因はなににありますか。該当するものに○をご記入ください。(いくつでも)

職種	・資格保有者が見つからない (求人等に出しているが申し込みがない)	・金銭的な理由により新たに従業員を雇うことができない	・現場と法人の認識に相違があり、新たな従業員を雇ってもらえない	・その他 該当があれば下記に記載
訪問介護員				
サービス提供責任者				
介護職員				
看護職員				
事務員				

問 6-3 貴事業所の月の平均利用者数と総サービス提供時間数について、ご記入ください。

※月の平均利用者数：令和7年2月から令和8年1月の平均をご記入ください。

※ 総サービス提供時間数：ひと月当たりの全従業員のサービス提供に要した時間をご記入ください。

月の平均利用者数		人
総サービス提供時間数		時間

問 7 貴事業所において、介護の仕事を経験したことがない者(未経験者)を従業員として採用していますか。
当てはまるものに○をご記入ください。

① 既に採用している	
② 募集を行っている、または、募集を前向きに検討している	
③ 採用や募集をする予定はない	

問 7-1 【問 7 で、「① 既に採用している。」と回答した事業所のみ】

採用した未経験者の介護に関する知識について、当てはまるものに○をご記入ください。

① 介護に関する研修を受講しており、一定の知識を持っていた	
② 知識がなかったため、初任者研修等の受講をしてもらった	
③ 知識がなかったため、初任者研修等の受講ではなく、事業所内で育成した	

問7-2 【問7で、「① 既に採用している。」と回答した事業所のみ】

採用した未経験者の育成に当たって、行政や関係団体のサポートが必要であると感じたことはありましたか。当てはまるものに○をご記入ください。

なお、実際に利用したサポートやあるとよかったサポートについてもご記入ください。

① サポートが必要であると感じることはなかった	
② サポートが必要であると感じたことがあった ⇒実際に利用したサポート() ⇒あるとよかったサポート()	

問8 貴事業所において、介護助手を導入することを考えていますか。当てはまるものに○をご記入ください。

① 既に導入している	
② 導入を前向きに検討している	
③ 導入をする予定はない	
④ 制度を知らなかった	

※ 介護助手とは、介護サービス事業所において、介護職員をサポートし、比較的簡単な単純作業を行う人材のことを指し、福岡県も導入を積極的に支援しています。

介護助手は、身体介護を一切行わず、施設整備(清掃・物品補充・ゴミ捨て・洗濯物の回収や配布・シーツ交換・ベットメイキング等)や食事補助(配膳・後片付け・お茶の配置・食事量チェック等)といった仕事を担っていただくことで、次のような効果が期待できます。

- ・人材採用のすそ野が広がり、介護人材の確保につなげることができる。
- ・介護職員が身体介護やきめ細かな介護の提供に注力することができる。
- ・高齢者に収入を得る機会だけでなく、健康づくりや生きがいづくりの場を提供することができる。

問8-1 【問8で、「① 既に導入している。」または「② 導入を前向きに検討している。」と回答した事業所のみ】どのような仕事を介護助手に任せていますか。(任せたいですか。)

--

問8-2 【問8で、「① 既に導入している。」または「② 導入を前向きに検討している。」と回答した事業所のみ】介護助手の導入に当たり、苦勞した(している)ことはありますか。当てはまるもの全てに○をご記入ください。

① 介護助手に任せる仕事を切り出すこと	
② 他の従業員の理解を得ること	
③ 介護助手に仕事を教えること	
④ 苦勞したことはなかった	
⑤ その他()	

問 8-3 【問 8 で、「③導入をする予定はない。」と回答した事業所のみ】

その理由について、当てはまるもの全てに○をご記入ください。

① 介護助手に任せる仕事がない	
② 介護助手に任せられる仕事はあるだろうが、仕事を切り出すのが難しい	
③ 他の従業員の理解を得ることが難しい	
④ 介護助手に仕事を教える時間的・人的余裕がない	
⑤ 介護助手を雇用する金銭的余裕がない	
⑥ 人員が充足しており、必要性を感じない	
⑦ 法人の方針が出ていない	
⑧ その他（ ）	

問 9 貴事業所の外国人人材の雇用についてお伺いします（1つに○）

① すでに雇用している	
② 雇用する予定がある	
③ 検討している	
④ わからない・未定である	
⑤ 雇用する予定はない	
⑥ その他（ ）	

問 10 貴事業所において、ハローワーク等での求人活動以外に、介護人材確保のために取り組んでいることはどのようなことがありますか。（いくつでも）

① 未経験者（介護の仕事を経験したことがない者）の雇用と教育	
② 外国人人材の雇用	
③ スポットワーク従業員の活用	
④ 介護助手の雇用	
⑤ 介護現場の DX 及び ICT 化	
⑥ 職場環境の見直し（賃金体系や就業規則等の働き方改革）	
⑦ 法人内または他法人が運営する事業所との連携による人材確保	
⑧ 民間の介護職員斡旋事業者に登録し、会費（利用料）を払って職員を確保している	
⑨ 有資格者確保のための資格取得支援（助成制度）等	
⑩ その他（ ）	

問 11 貴事業所において、ハローワーク等での求人活動以外に、介護人材確保のために今後取り組んでいきたいと考える方策としては、問 10 で回答したもの以外でどのようなことがありますか。(いくつでも)

① 未経験者（介護の仕事を経験したことがない者）の雇用と教育	
② 外国人人材の雇用	
③ スポットワーク従業者の活用	
④ 介護助手の雇用	
⑤ 介護現場の DX 及び ICT 化	
⑥ 職場環境の見直し（賃金体系や就業規則等の働き方改革）	
⑦ 法人内または他法人が運営する事業所との連携による人材確保	
⑧ 民間の介護職員斡旋事業者に登録し、会費（利用料）を払って職員を確保したい	
⑨ 有資格者確保のための資格取得支援（助成制度）等	
⑩ その他（ ）	

問 12 貴事業所において、介護人材を確保する場合に障害となっていることはどのようなことがありますか。優先順位の高い順から、3 つ選択してください。(優先順位の数字 1～3 を記入)

① 未経験者（介護の仕事を経験したことがない者）への説明や指導に割く労力等不足	
② 外国人人材の雇用において、言葉や文化の壁があり、抵抗感がある	
③ スポットワーク従業者と事業所の従業者との連携が難しい	
④ 介護助手を活用する上で、介護助手への説明や指導に割く労力等不足	
⑤ 介護現場の DX 及び ICT 化をする費用負担が大きい	
⑥ 介護現場の DX 及び ICT 化をしたいが、導入に対して従業員の理解が得られない	
⑦ 職場環境の見直し（賃金体系や就業規則等の働き方改革）を行う資金や時間がない	
⑧ 連携できる事業所等がない	
⑨ 民間の斡旋事業者への登録、会費（利用料）の費用負担が大きい	
⑩ 有資格者確保のための資格取得支援（助成制度）に対する費用負担や研修時の代替え職員の確保が難しい	
⑪ その他（ ）	

問 13 現在、介護サービスを提供する上で、課題に感じていることは何ですか（いくつでも）

① 介護職員の人手不足	
② 職員の定着が難しい（離職率が高い）	
③ 医療機関との連携が難しい	
④ 認知症高齢者への対応の難しさ	
⑤ 重度化・医療的ケアへの対応	
⑥ 利用者・家族からの過度な要望・クレーム	
⑦ 利用者の虐待・ハラスメントなどへの対処	
⑧ 感染症や災害などへの対応（BCP 関連）	
⑨ 行政・制度改正への対応が難しい	
⑩ ICT 導入や記録のデジタル化への不安	
⑪ 業務量・事務負担の多さ	
⑫ 特に課題に感じていることはない	
⑬ その他（ ）	

問 14 介護サービス事業所の人材確保（新規職員の採用や既存職員の定着など）に当たり、行政からどんな支援があるとよいと思いますか。提案やアイデア、要望等についてご記入ください。
また、その支援があるとよいと思う理由や期待できる効果について可能であればご記入ください。

支援やアイデアの内容	
その支援があるとよいと思う理由	
期待できる効果	
要望等	

■■■以上で、調査は終了です。ご協力ありがとうございました。■■■